4. 振動の状況

(1)環境振動の状況

対象事業実施区域及びその周囲における環境振動の状況について、福島県及び福島市において公表された測定結果はない。

(2)道路交通振動の状況

対象事業実施区域及びその周囲における道路交通振動の状況について、平成 29 年度における道路交通振動の調査結果は第 3.1-29 表(1)～(2)のとおりであり、調査位置は第 3.1-17 図のとおりである。

第 3.1-29 表(1)　道路交通振動の測定結果(1)（平成 29 年度）

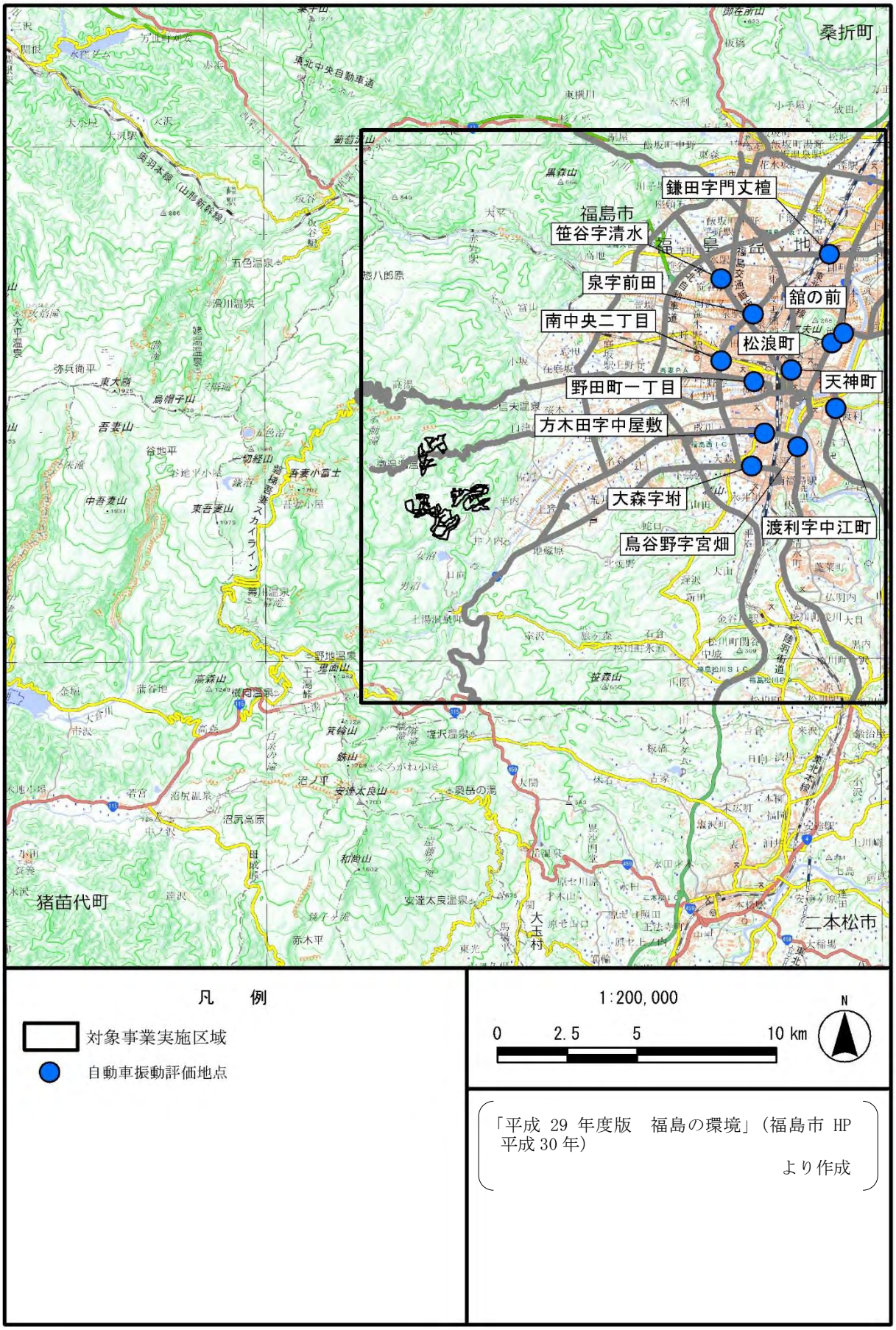
路線名	地点名	都市計画法用途地域	地域の区分 振動規制法	測定値の種別	振動レベル(デシベル) 昼間 9:00～11:00	昼間 15:00～17:00	夜間 23:00～1:00	夜間 3:00～5:00
国道 4 号	松浪町	近隣商業	2 種	中央値	38.7	34.5	41.8	20.3
				上端値	48.4	46.0	49.7	44.1
				下端値	21.0	20.0	40.1	9.4
国道 4 号	鳥谷野字宮畑	工業	2 種	中央値	31.9	30.4	22.1	18.1
				上端値	41.8	40.0	39.7	39.8
				下端値	21.8	20.8	14.2	12.9
国道 13 号	天神町	近隣商業	2 種	中央値	26.3	25.8	34.5	14.5
				上端値	37.5	35.5	58.9	25.1
				下端値	18.7	19.5	27.3	10.7
国道 13 号（西道路）	泉字前田	2 種住居	1 種	中央値	22.8	22.7	11.4	9.5
				上端値	31.2	28.8	20.4	16.4
				下端値	17.4	17.3	8.5	7.6
国道 13 号（西道路）	南中央二丁目	準工業	2 種	中央値	24.8	24.0	15.3	14.9
				上端値	37.7	34.9	26.4	20.7
				下端値	16.1	17.7	11.8	13.5
国道 114 号	渡利字中江町	1 種住居	1 種	中央値	17.5	16.9	10.5	9.5
				上端値	24.7	23.5	14.7	12.8
				下端値	13.7	12.9	8.6	8.0
国道 4 号	松浪町	近隣商業	2 種	中央値	38.7	34.5	41.8	20.3
				上端値	48.4	46.0	49.7	44.1
				下端値	21.0	20.0	40.1	9.4
国道 115 号	舘の前	2 種住居	1 種	中央値	24.7	26.0	13.6	14.3
				上端値	39.8	38.6	21.2	18.9
				下端値	18.5	18.6	10.6	9.7
国道 115 号	方木田字中屋敷	準住居	1 種	中央値	26.8	26.7	13.1	18.3
				上端値	38.7	36.7	27.2	20.7
				下端値	19.4	18.4	11.4	17.4

〔「平成 29 年度版　福島の環境」（福島市 HP、閲覧：平成 30 年 12 月）より作成〕

第 3.1-29 表(2)　道路交通振動の測定結果(2)（平成 29 年度）

路線名	地点名	都市計画法用途地域	地域の区分 振動規制法	測定値の種別	振動レベル(デシベル)			
					昼間		夜間	
					9:00～11:00	15:00～17:00	23:00～1:00	3:00～5:00
主要地方道 福島・飯坂線	笹谷字 清水	1 種住居	1 種	中央値	30.7	31.8	19.6	12.9
				上端値	41.1	39.8	34.5	19.5
				下端値	18.6	21.3	12.2	11.0
主要地方道 吾妻・裏磐梯線	野田町 一丁目	2 種住居	1 種	中央値	29.5	30.7	13.8	10.1
				上端値	37.6	37.3	29.8	20.9
				下端値	21.6	22.4	9.0	8.0
県道飯坂・ 保原線	鎌田字 門丈檀	1 種住居	1 種	中央値	32.6	30.3	16.8	14.2
				上端値	47.5	47.5	34.4	33.6
				下端値	24.9	20.7	11.4	11.3
県道南福島 停車場線	大森字 坿	準工業	2 種	中央値	30.5	28.1	16.2	13.6
				上端値	40.3	37.7	37.1	26.4
				下端値	22.7	20.8	11.9	10.6

〔「平成 29 年度版　福島の環境」（福島市 HP、閲覧：平成 30 年 12 月）より作成〕



第 3.1-17 図　自動車振動評価地点

(1) 振動に係る苦情の発生状況

平成 29 年度の振動に係る苦情件数は「平成 29 年度環境等測定調査結果」(福島県、平成 30 年)によると福島市で 2 件となっている。

また、平成 25～29 年度における振動に係る苦情件数の推移は第 3.1-30 表のとおりである。

第 3.1-30 表　振動に係る苦情件数の推移

(単位：件)

市	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
福島市	1	0	3	2	2

〔「平成 25～29 年度　環境等測定調査結果」（福島県 HP、平成 26～30 年）より作成〕

3.1.2 水環境の状況

1. 水象の状況

(1) 河川

対象事業実施区域及びその周囲の河川の状況は、第 3.1-18 図のとおりである。

対象事業実施区域の周囲には阿武隈川水系の一級河川である「須川」及び「白津川」、「鍛冶屋川」、「塩ノ川」等が分布している。

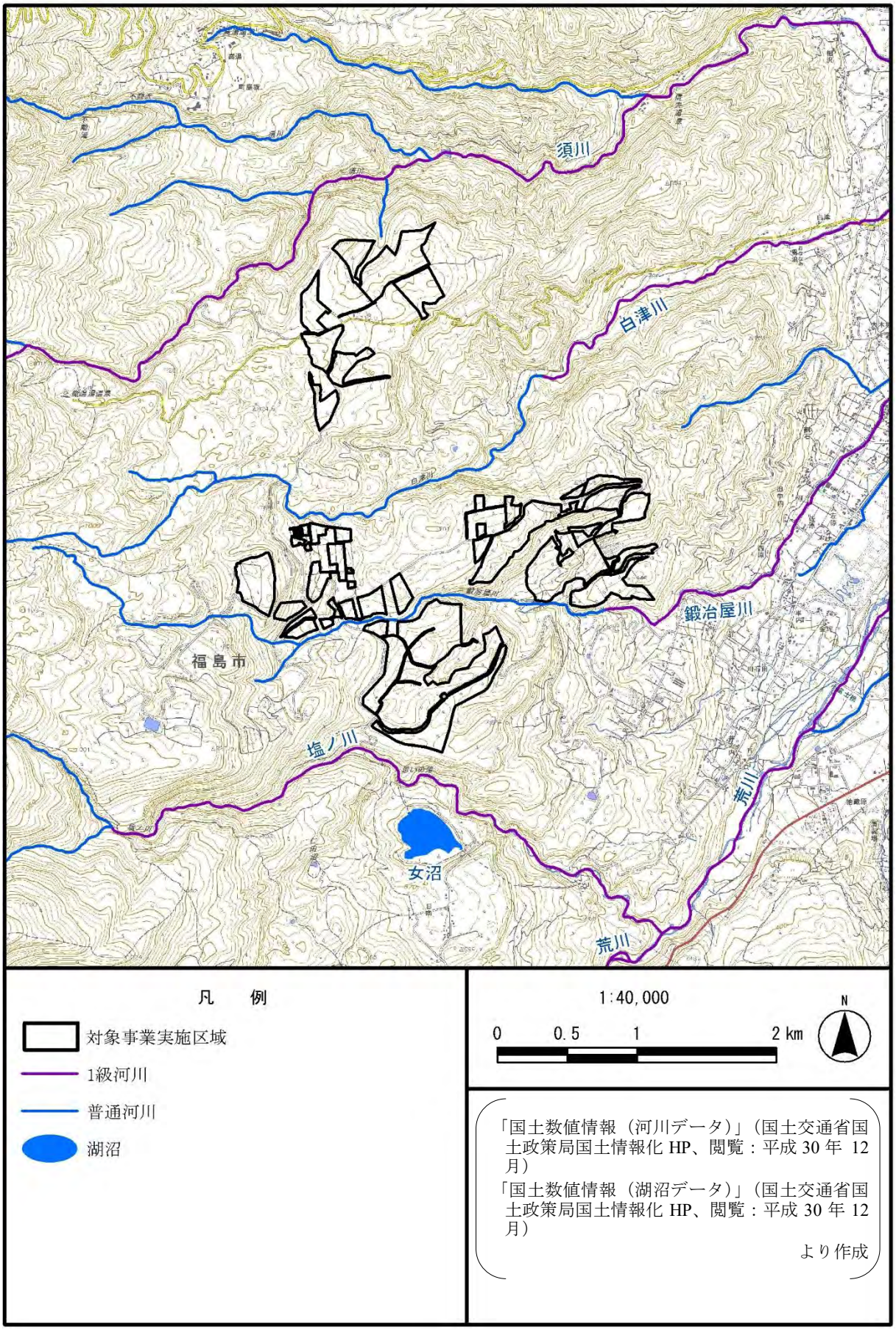
(2) 湖沼

対象事業実施区域及びその周囲の湖沼の状況は、第 3.1-18 図のとおりである。

対象事業実施区域の南側に「女沼」が分布している。

(3) 海域

対象事業実施区域及びその周囲に海域は存在しない。



第 3.1-18 図　主要な河川・湖沼の状況

2. 水質の状況

(1)河川の水質

対象事業実施区域及びその周囲の河川の水質の状況として、平成 28 年度は福島県が 10 地点、福島市が 12 地点で水質調査を行っている。測定地点は第 3.1-19 図(1)～(2)のとおりである。

① 人の健康の保護に関する項目(健康項目)

対象事業実施区域及びその周囲の健康項目に係る平成 28 年度の公共用水域の水質測定結果は第 3.1-31 表(1)～(3)のとおりであり、いずれも環境基準に適合している。

第 3.1-31 表(1)　健康項目の水質測定結果（平成 28 年度）

水域名		阿武隈川中流(2)			荒川(日の倉橋より下流)			環境基準
調査地点名		蓬莱橋(黒岩)			阿武隈川合流前(信夫橋)			
測定項目	単位	最大値	平均値	m/n	最大値	平均値	m/n	
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	0/11	<0.0003	<0.0003	0/2	0.003mg/L 以下
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	0/11	<0.1	<0.1	0/2	検出されないこと
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	0/11	<0.005	<0.005	0/2	0.01mg/L 以下
六価クロム	mg/L	<0.02	<0.02	0/11	<0.02	<0.02	0/2	0.05mg/L 以下
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	0/11	<0.005	<0.005	0/2	0.01mg/L 以下
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	0/11	<0.0005	<0.0005	0/2	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	mg/L	－	－	－	－	－	－	検出されないこと
ＰＣＢ	mg/L	<0.0005	<0.0005	0/1	－	－	－	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	0/2	－	－	－	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	0/2	－	－	－	0.002mg/L 以下
塩化ビニルモノマー	mg/L							0.002mg/L 以下※
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	0/2	－	－	－	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	0/2	－	－	－	0.1mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	0/2	－	－	－	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	0/2	－	－	－	1mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	0/2	－	－	－	0.006mg/L 以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	0/2	－	－	－	0.01mg/L 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	0/2	－	－	－	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	0/2	－	－	－	0.002mg/L 以下
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	0/2	－	－	－	0.006mg/L 以下
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	0/2	－	－	－	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	0/2	－	－	－	0.02mg/L 以下
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	0/2	－	－	－	0.01mg/L 以下
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	0/2	－	－	－	0.01mg/L 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	1.3	1.3	0/2	－	－	－	10mg/L 以下
ふっ素	mg/L	0.11	0.10	0/2	－	－	－	0.8mg/L 以下
ほう素	mg/L	0.05	0.04	0/2	－	－	－	1mg/L 以下
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	0/4	<0.005	<0.005	0/4	0.05mg/L 以下

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。
　　3.　「m/n」の m は環境基準を超える検体数、n は総検体数を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

第 3.1-31 表(2)　健康項目の水質測定結果（平成 28 年度）

水域名		松川			摺上川			環境基準
調査地点名		阿武隈川合流前(松川)			阿武隈川合流前			
測定項目	単位	最大値	平均値	m/n	最大値	平均値	m/n	
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	0/2	<0.0003	<0.0003	0/2	0.003mg/L 以下
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	0/2	<0.1	<0.1	0/2	検出されないこと
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	0/2	<0.005	<0.005	0/2	0.01mg/L 以下
六価クロム	mg/L	<0.02	<0.02	0/2	<0.02	<0.02	0/2	0.05mg/L 以下
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	0/2	<0.005	<0.005	0/2	0.01mg/L 以下
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	0/2	<0.0005	<0.0005	0/2	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	mg/L	－	－	－	－	－	－	検出されないこと
ＰＣＢ	mg/L	－	－	－	－	－	－	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	－	－	－	－	－	－	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	mg/L	－	－	－	－	－	－	0.002mg/L 以下
塩化ビニルモノマー	mg/L							0.002mg/L 以下※
1,2-ジクロロエタン	mg/L	－	－	－	－	－	－	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	－	－	－	－	－	－	0.1mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	－	－	－	－	－	－	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	－	－	－	－	－	－	1mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	－	－	－	－	－	－	0.006mg/L 以下
トリクロロエチレン	mg/L	－	－	－	－	－	－	0.01mg/L 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	－	－	－	－	－	－	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	－	－	－	－	－	－	0.002mg/L 以下
チウラム	mg/L	－	－	－	－	－	－	0.006mg/L 以下
シマジン	mg/L	－	－	－	－	－	－	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	mg/L	－	－	－	－	－	－	0.02mg/L 以下
ベンゼン	mg/L	－	－	－	－	－	－	0.01mg/L 以下
セレン	mg/L	－	－	－	－	－	－	0.01mg/L 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	－	－	－	－	－	－	10mg/L 以下
ふっ素	mg/L	－	－	－	－	－	－	0.8mg/L 以下
ほう素	mg/L	－	－	－	－	－	－	1mg/L 以下
1,4-ジオキサン	mg/L	－	－	－	－	－	－	0.05mg/L 以下

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。
　　3.　「m/n」の m は環境基準を超える検体数、n は総検体数を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

第 3.1-31 表(3)　健康項目の水質測定結果（平成 28 年度）

水域名		濁川			環境基準
調査地点名		大森川合流前			
測定項目	単位	最大値	平均値	m/n	
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	0/2	0.003mg/L 以下
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	0/2	検出されないこと
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	0/2	0.01mg/L 以下
六価クロム	mg/L	<0.02	<0.02	0/2	0.05mg/L 以下
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	0/2	0.01mg/L 以下
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	0/2	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	mg/L	－	－	－	検出されないこと
ＰＣＢ	mg/L	－	－	－	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	0/2	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	0/2	0.002mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	0/2	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	0/2	0.1mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	0/2	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	0/2	1mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	0/2	0.006mg/L 以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	0/2	0.01mg/L 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	0/2	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	0/2	0.002mg/L 以下
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	0/2	0.006mg/L 以下
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	0/2	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	0/2	0.02mg/L 以下
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	0/2	0.01mg/L 以下
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	0/2	0.01mg/L 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	1.6	1.3	0/4	10mg/L 以下
ふっ素	mg/L	0.53	0.27	0/12	0.8mg/L 以下
ほう素	mg/L	0.14	0.10	0/4	1mg/L 以下
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	0/2	0.05mg/L 以下

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。
　　3.　「m/n」の m は環境基準を超える検体数、n は総検体数を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

② 生活環境の保全に関する項目(生活環境項目)

対象事業実施区域及びその周囲の生活環境項目に係る平成 28 年度の公共用水域の水質測定結果は第 3.1-32 表(1)～(11)～第 3.1-33 表(1)～(4)のとおりである。環境基準の指定されている 6 地点のうち、「阿武隈川合流前（信夫橋)」、「阿武隈川合流前(松川)」、「阿武隈川合流前」の地点で pH が環境基準を達成していない。また、「阿武隈川合流前（信夫橋)」以外の地点で大腸菌群数が環境基準を達成していない。

第 3.1-32 表(1) 生活環境項目の水質測定結果（平成 28 年度）

水域名		阿武隈川中流(2)				荒川(日ノ倉橋より上流)				環境基準 A 類型 ()内は B 類型
調査地点名		蓬莱橋(黒岩)				日ノ倉橋上流(荒川橋)				
類型区分		B				A				
測定項目	単位	最小値	最大値	75%値	m/n	最小値	最大値	75%値	m/n	
水素イオン濃度 (pH)	-	7.4	7.7	-	0/11	7.2	7.7	-	0/11	6.5(6.5)以上 8.5(8.5)以下
溶存酸素量 (DO)	mg/L	6.8	13	-	0/11	8.6	14	-	0/11	7.5(5)以上
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.9	2.1	1.9	0/11	<0.5	<0.5	<0.5	0/11	2(3)以下
浮遊物質量 (SS)	mg/L	1	10	-	0/11	1	5	-	0/11	25(25)以下
大腸菌群数	MPN /100mL	330	79,000	-	1/11	45	3,300	-	2/11	1,000(5000)以下

注：1. 「－」は測定が行われていない事を示す。
2. 「<」は報告下限値未満を示す。
3. 「m/n」の m は環境基準を超える検体数、n は総検体数を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

第 3.1-32 表(2) 生活環境項目の水質測定結果（平成 28 年度）

水域名		荒川(日ノ倉橋より下流)				松川				環境基準 A 類型
調査地点名		阿武隈川合流前(信夫橋)				阿武隈川合流前(松川)				
類型区分		A				A				
測定項目	単位	最小値	最大値	75%値	m/n	最小値	最大値	75%値	m/n	
水素イオン濃度 (pH)	-	5.2	6.6	-	10/11	5.5	7	-	9/12	6.5 以上 8.5 以下
溶存酸素量 (DO)	mg/L	8.8	13	-	0/11	8.5	12	-	0/12	7.5 以上
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	0/11	<0.5	1.2	0.7	0/12	2 以下
浮遊物質量 (SS)	mg/L	9	13	-	0/11	1	10	-	0/12	25 以下
大腸菌群数	MPN /100mL	45	330	-	0/11	21	3,300	-	4/12	1,000 以下

注：1. 「－」は測定が行われていない事を示す。
2. 「<」は報告下限値未満を示す。
3. 「m/n」の m は環境基準を超える検体数、n は総検体数を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

第 3.1-32 表(3)　生活環境項目の水質測定結果（平成 28 年度）

水域名		摺上川				摺上川				環境基準 A 類型
調査地点名		阿武隈川合流前				十綱橋				
類型区分		A				A				
測定項目	単位	最小値	最大値	75%値	m/n	最小値	最大値	75%値	m/n	
水素イオン濃度(pH)	-	6.2	7.5	-	1/12	6.8	7.2	-	0/12	6.5 以上 8.5 以下
溶存酸素量(DO)	mg/L	9.2	13	-	0/12	9.7	13	-	0/12	7.5 以上
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.7	1.4	1.1	0/12	0.5	1.4	1	0/12	2 以下
浮遊物質量(SS)	mg/L	1	5	-	0/12	1	7	-	0/12	25 以下
大腸菌群数	MPN /100mL	1100	13,000	-	12/12	450	130,000	-	10/12	1,000 以下

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。
　　3.　「m/n」の m は環境基準を超える検体数、n は総検体数を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

第 3.1-32 表(4)　生活環境項目の水質測定結果（平成 28 年度）

水域名		八反田川				濁川				環境基準 A 類型
調査地点名		八反田橋				大森川合流前				
類型区分		無				無				
測定項目	単位	最小値	最大値	75%値	m/n	最小値	最大値	75%値	m/n	
水素イオン濃度(pH)	-	6.6	7.1	-	/12	6.9	7.2	-	/12	6.5 以上 8.5 以下
溶存酸素量(DO)	mg/L	8.6	13	-	/12	8	12	-	/12	7.5 以上
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	1	2.8	1.9	/12	1.2	3.4	2.8	/12	2 以下
浮遊物質量(SS)	mg/L	<1	10	-	/12	3	11	-	/12	25 以下
大腸菌群数	MPN /100mL	4,900	23,000	-	/12	3,300	170,000	-	/12	1,000 以下

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。
　　3.　「m/n」の m は環境基準を超える検体数、n は総検体数を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

第 3.1-32 表(5)　生活環境項目の水質測定結果（平成 28 年度）

水域名		水原川				須川				環境基準 A 類型
調査地点名		下藤内橋				須川橋				
類型区分		無				無				
測定項目	単位	最小値	最大値	75%値	m/n	最小値	最大値	75%値	m/n	
水素イオン濃度 (pH)	-	6.9	7.4	-	/12	7.2	7.7	-	/12	6.5 以上 8.5 以下
溶存酸素量 (DO)	mg/L	8	14	-	/12	7.8	13	-	/12	7.5 以上
生物化学的酸素 要求量(BOD)	mg/L	0.8	2.3	1.7	/12	1.8	3.4	3	/12	2 以下
浮遊物質量 (SS)	mg/L	1	10	-	/12	<1	4	-	/12	25 以下
大腸菌群数	MPN /100mL	330	33,000	-	/12	2300	240,000	-	/12	1,000 以下

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。
　　3.　「m/n」の m は環境基準を超える検体数、n は総検体数を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

第 3.1-32 表(6)　生活環境項目の水質測定結果（平成 28 年度）

水域名		阿武隈川中流(2)			荒川(日ノ倉橋より上流)			環境基準 生物 A 類型
調査地点名		蓬莱橋(黒岩)			日ノ倉橋上流(荒川橋)			
類型区分		生物 A			無			
測定項目	単位	最小値	最大値	m/n	最小値	最大値	m/n	
全亜鉛	mg/L	0.006	0.013	0/4	0.002	0.008	/11	0.03mg/L 以下
ノニルフェノール	mg/L	<0.00006	<0.00006	0/4	-	-	-	0.001mg/L 以下
直鎖アルキルベンゼン スルホン酸及びその塩	mg/L	0.0009	0.0073	0/4	-	-	-	0.03mg/L 以下

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。
　　3.　「m/n」の m は環境基準を超える検体数、n は総検体数を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

第 3.1-32 表(7)　生活環境項目の水質測定結果（平成 28 年度）

水域名		荒川(日ノ倉橋より下流)			松川			環境基準 生物 A 類型
調査地点名		阿武隈川合流前(信夫橋)			阿武隈川合流前(松川)			
類型区分		無			無			
測定項目	単位	最小値	最大値	m/n	最小値	最大値	m/n	
全亜鉛	mg/L	0.008	0.014	/11	0.007	0.02	/4	0.03mg/L 以下
ノニルフェノール	mg/L	-	-	-	<0.00006	<0.00006	/4	0.001mg/L 以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	-	-	-	0.0013	0.012	/4	0.03mg/L 以下

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。
　　3.　「m/n」の m は環境基準を超える検体数、n は総検体数を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

第 3.1-32 表(8)　生活環境項目の水質測定結果（平成 28 年度）

水域名		摺上川			摺上川			環境基準 生物 A 類型
調査地点名		阿武隈川合流前			十綱橋			
類型区分		生物 A			生物 A			
測定項目	単位	最小値	最大値	m/n	最小値	最大値	m/n	
全亜鉛	mg/L	0.001	0.002	0/4	0.001	0.001	0/4	0.03mg/L 以下
ノニルフェノール	mg/L	<0.00006	<0.00006	0/4	<0.00006	<0.00006	0/4	0.001mg/L 以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	0.0008	0.0038	0/4	0.0019	0.0062	0/4	0.03mg/L 以下

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。
　　3.　「m/n」の m は環境基準を超える検体数、n は総検体数を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

第 3.1-32 表(9)　生活環境項目の水質測定結果（平成 28 年度）

水域名		八反田川			濁川			環境基準 生物 A 類型
調査地点名		八反田橋			大森川合流前			
類型区分		無			無			
測定項目	単位	最小値	最大値	m/n	最小値	最大値	m/n	
全亜鉛	mg/L	0.011	0.021	/4	0.006	0.027	/5	0.03mg/L 以下
ノニルフェノール	mg/L	<0.00006	<0.00006	/4	<0.00006	<0.00006	/4	0.001mg/L 以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	0.0064	0.012	/4	0.0045	0.022	/4	0.03mg/L 以下

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。
　　3.　「m/n」の m は環境基準を超える検体数、n は総検体数を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

第 3.1-32 表(10)　生活環境項目の水質測定結果（平成 28 年度）

水域名		水原川			環境基準 生物 A 類型
調査地点名		下藤内橋			
類型区分		無			
測定項目	単位	最小値	最大値	m/n	
全亜鉛	mg/L	0.002	0.003	/4	0.03mg/L 以下
ノニルフェノール	mg/L	<0.00006	<0.00006	/4	0.001mg/L 以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	0.0027	0.011	/4	0.03mg/L 以下

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。
　　3.　「m/n」の m は環境基準を超える検体数、n は総検体数を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

第 3.1-32 表(11)　生活環境項目の水質測定結果（平成 28 年度）

水域名		秋元湖			環境基準 生物 A 類型
調査地点名		湖東湖			
類型区分		Ⅱ			
測定項目	単位	最小値	最大値	m/n	
全窒素	mg/L	0.16	0.33	3/7	0.2mg/L 以下
全燐	mg/L	0.007	0.017	4/7	0.01mg/L 以下

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。
　　3.　「m/n」の m は環境基準を超える検体数、n は総検体数を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

第 3.1-33 表(1)　生活環境項目の水質測定結果（平成 28 年度）（福島市調査）

水域名		摺上川		小川		蛭川	
調査地点名		増沢橋		上小川橋		上新田橋	
測定項目	単位	最小値	最大値	最小値	最大値	最小値	最大値
水素イオン濃度 (pH)	－	6.8	7.1	6.9	7.1	6.9	7.3
溶存酸素量 (DO)	mg/L	8.6	13	9.0	14	8.4	14
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	0.5	1.5	<0.5	0.9	1.7	3.3
浮遊物質量 (SS)	mg/L	1	22	<1	5	1	20
大腸菌群数	MPN /100mL	17	9,200	79	16,000	3,300	79,000

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

第 3.1-33 表(2)　生活環境項目の水質測定結果（平成 28 年度）（福島市調査）

水域名		松川		天戸川		須川	
調査地点名		信夫大橋		天戸橋		舘の下橋	
測定項目	単位	最小値	最大値	最小値	最大値	最小値	最大値
水素イオン濃度 (pH)	－	5.3	6.6	6.7	7.1	4.4	4.8
溶存酸素量 (DO)	mg/L	8	12	9	13	8.8	13
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	<0.5	0.8	<0.5	1.0	<0.5	0.7
浮遊物質量 (SS)	mg/L	1	11	<1	4	2	7
大腸菌群数	MPN /100mL	23	9,200	130	4,900	7.8	490

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

第 3.1-33 表(3)　生活環境項目の水質測定結果（平成 28 年度）（福島市調査）

水域名		鍛冶屋川		荒川		荒川	
調査地点名		白津川合流点前		仁井田橋		信夫橋	
測定項目	単位	最小値	最大値	最小値	最大値	最小値	最大値
水素イオン濃度 (pH)	－	6.9	7.3	6.9	7.3	6.0	6.7
溶存酸素量 (DO)	mg/L	9.0	13	9.0	14	8.9	13
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	0.6	1.4	<0.5	1.1	<0.5	1.1
浮遊物質量 (SS)	mg/L	1	7	<1	4	9	15
大腸菌群数	MPN /100mL	1400	33,000	110	4,900	330	4,900

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。

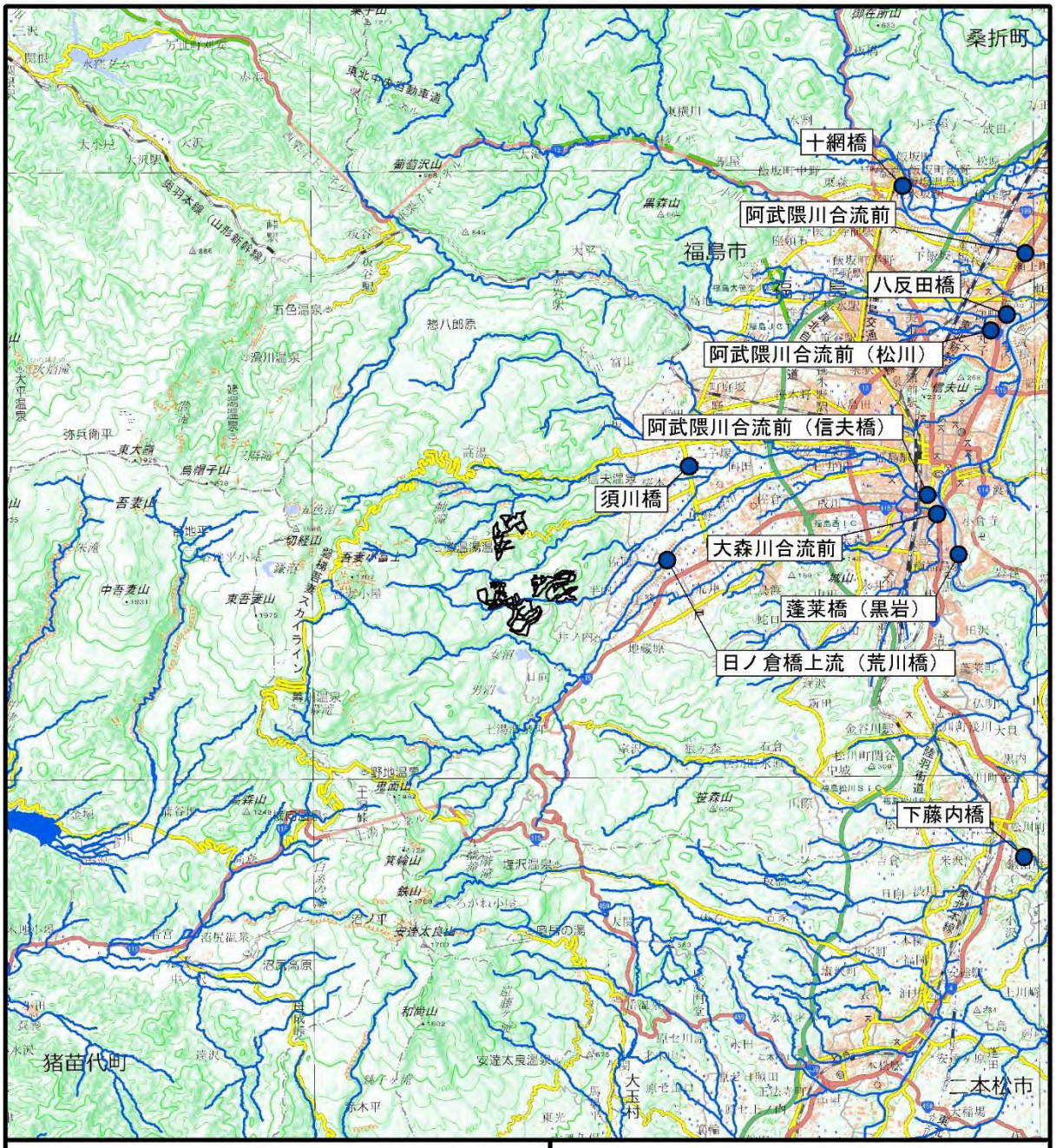
〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

第 3.1-33 表(4)　生活環境項目の水質測定結果（平成 28 年度）（福島市調査）

水域名		大森川		水原川		祓川	
調査地点名		濁川合流点前		熊田橋		松川合流点前	
測定項目	単位	最小値	最小値	最小値	最大値	最小値	最大値
水素イオン濃度 (pH)	－	7.0	6.6	6.6	7.3	7.2	7.6
溶存酸素量 (DO)	mg/L	9	8.5	8.5	14	7.2	13
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	1.4	<0.5	<0.5	1.3	1.5	25
浮遊物質量 (SS)	mg/L	2	<1	<1	6	1	10
大腸菌群数	MPN /100mL	2,200	230	230	33,000	1,100	33,000

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕



凡　例

- 対象事業実施区域
- 河川
- 水質調査地点

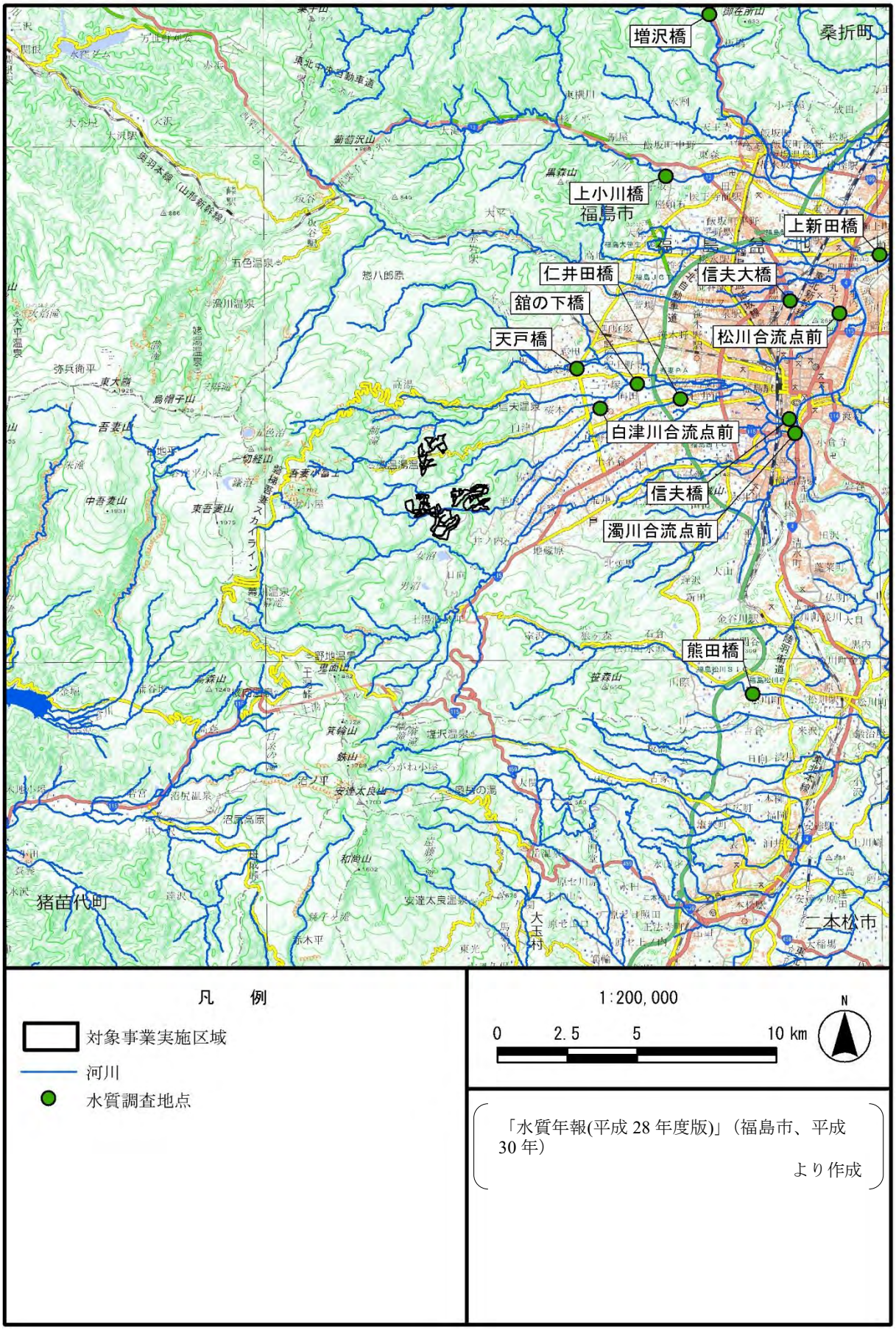
1:200,000

0　2.5　5　10 km

N

「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）
より作成

第 3.1-19 図(1)　河川の水質測定地点（福島県）



第 3.1-19 図(2)　河川の水質測定地点（福島市）

(2)地下水の水質

地下水の水質の状況を把握するため、平成 28 年度は福島県において概況調査が 55 地点、継続監視調査が 189 地点で実施されている。

対象事業実施区域及びその周囲においては、概況調査が庄野地区において 1 地点、継続監視調査が上鳥渡地区において 4 地点で実施されている。平成 28 年度の調査結果は第 3.1-34 表(1)～(2)のとおりである。

第 3.1-34 表(1)　地下水の水質測定結果（平成 28 年度）

市		福島市	福島市	福島市	環境基準
地区名		庄野	上鳥渡	上鳥渡	
用途		飲用	雑用	雑用	
井戸番号		100	1700	4000	
測定項目		測定値			
カドミウム	mg/L	<0.0003	－	－	0.003mg/L 以下
全シアン	mg/L	<0.1	－	－	検出されないこと
鉛	mg/L	<0.005	－	－	0.01mg/L 以下
六価クロム	mg/L	<0.02	－	－	0.05mg/L 以下
砒素	mg/L	<0.005	－	－	0.01mg/L 以下
総水銀	mg/L	<0.0005	－	－	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	mg/L	－	－	－	検出されないこと
ＰＣＢ	mg/L	<0.0005	－	－	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	－	－	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	－	－	0.002mg/L 以下
塩化ビニルモノマー	mg/L	<0.0002	<0.0002	－	0.002mg/L 以下※
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	－	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	－	0.1mg/L 以下
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	－	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	－	0.006mg/L 以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	0.0028	0.0019	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	－	－	0.002mg/L 以下
チウラム	mg/L	<0.0006	－	－	0.006mg/L 以下
シマジン	mg/L	<0.0003	－	－	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	－	－	0.02mg/L 以下
ベンゼン	mg/L	<0.001	－	－	0.01mg/L 以下
セレン	mg/L	<0.002	－	－	0.01mg/L 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	1.6	－	－	10mg/L 以下
ふっ素	mg/L	0.11	－	－	0.8mg/L 以下
ほう素	mg/L	0.11	－	－	1mg/L 以下
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	－	－	0.05mg/L 以下

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

第 3.1-34 表(2)　地下水の水質測定結果（平成 28 年度）

市		福島市	福島市	－	環境基準
地区名		上鳥渡	上鳥渡	－	
用途		雑用	雑用	－	
井戸番号		5700	6000	－	
測定項目		測定値			
カドミウム	mg/L	－	－	－	0.003mg/L 以下
全シアン	mg/L	－	－	－	検出されないこと
鉛	mg/L	－	－	－	0.01mg/L 以下
六価クロム	mg/L	－	－	－	0.05mg/L 以下
砒素	mg/L	－	－	－	0.01mg/L 以下
総水銀	mg/L	－	－	－	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	mg/L	－	－	－	検出されないこと
ＰＣＢ	mg/L	－	－	－	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	－	－	－	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	mg/L	－	－	－	0.002mg/L 以下
塩化ビニルモノマー	mg/L	－	－	－	0.002mg/L 以下※
1,2-ジクロロエタン	mg/L	－	－	－	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	－	－	－	0.1mg/L 以下
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	－	－	－	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	－	1mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	－	－	－	0.006mg/L 以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	－	0.01mg/L 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0005	<0.0005	－	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	－	－	－	0.002mg/L 以下
チウラム	mg/L	－	－	－	0.006mg/L 以下
シマジン	mg/L	－	－	－	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	mg/L	－	－	－	0.02mg/L 以下
ベンゼン	mg/L	－	－	－	0.01mg/L 以下
セレン	mg/L	－	－	－	0.01mg/L 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	－	－	－	10mg/L 以下
ふっ素	mg/L	－	－	－	0.8mg/L 以下
ほう素	mg/L	－	－	－	1mg/L 以下
1,4-ジオキサン	mg/L	－	－	－	0.05mg/L 以下

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。

〔「水質年報(平成 28 年度版)」（福島市、平成 30 年）より作成〕

(3)水質に係る苦情の発生状況

平成 29 年度の水質汚濁に係る苦情件数は「平成 29 年度環境等測定調査結果」(福島県、平成 30 年)によると福島市で 3 件となっている。

また、平成 25～29 年度における水質汚濁に係る苦情件数の推移は第 3.1-35 表のとおりである。

第 3.1-35 表　水質汚濁に係る苦情件数の推移

(単位：件)

市	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
福島市	12	10	13	19	3

〔「平成 25～29 年度　環境等測定調査結果」（福島県 HP、平成 26～30 年）より作成〕

3. 水底の底質の状況

「平成 29 年度　環境等測定調査結果」（福島県、平成 30 年）によると、福島県では、水底の底質のダイオキシン類による汚染状況を常時監視している。対象事業実施区域及びその周囲においては福島市が 5 地点の調査を行っている。平成 29 年度の調査結果は第 3.1-36 表のとおりである。

第 3.1-36 表　水底の底質測定結果（平成 29 年度）

水域名		摺上川	八反田川	松川	祓川	水原川	環境基準
調査地点名		幸橋	阿武隈川合流前	松川橋上流	松川合流前	下藤内橋	
測定項目	単位	測定値					
ダイオキシン類	(pg-TEQ/g)	0.14	0.11	0.11	0.12	0.78	150pg-TEQ/g

注：1.　「－」は測定が行われていない事を示す。
　　2.　「<」は報告下限値未満を示す。

〔「平成 29 年度　環境等測定調査結果」（福島県、平成 30 年）より作成〕

3.1.3 土壌及び地盤の状況

1. 土壌の状況

(1) 土壌

対象事業実施区域及びその周囲における土壌の状況は第 3.1-20 図のとおりである。

対象事業実施区域は主に「黒ボク土壌」及び「岩屑性土壌」からなっている。

(2) 土壌汚染

「土壌汚染対策法に基づく要措置区域等一覧」(環境省 HP、閲覧:平成 30 年 12 月)によると、「土壌汚染対策法」(平成 14 年法律第 53 号)に基づく要措置区域及び形質変更時要届出区域について、対象事業実施区域及びその周囲に指定はない。

(3) 土壌汚染に係る苦情の発生状況

土壌汚染に係る苦情の発生件数は「平成 29 年度　環境等測定調査結果」(福島県、平成 30 年)によると福島市で 0 件となっている。

また、平成 25～29 年度における土壌汚染に係る苦情件数の推移は第 3.1-37 表のとおりである。

第 3.1-37 表　土壌汚染に係る苦情件数の推移

(単位：件)

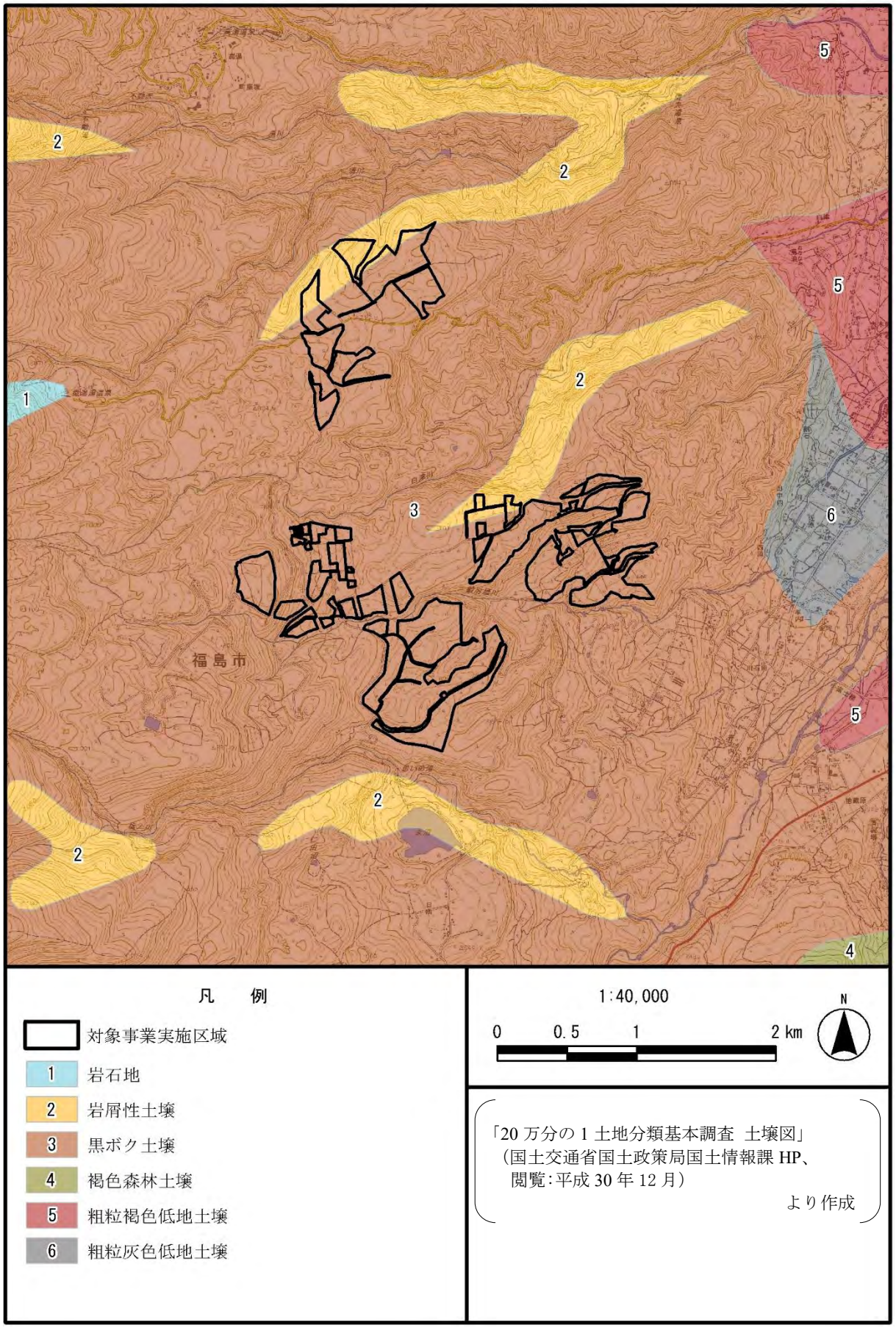
市	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
福島市	0	0	0	1	0

〔「平成 25～29 年度　環境等測定調査結果」（福島県 HP、平成 26～30 年）より作成〕

2. 地盤の状況

(1) 地盤沈下の状況

「平成 28 年度　全国の地盤沈下地域の概況」(環境省、平成 30 年)によると、対象事業実施区域及びその周囲において、地盤沈下は確認されていない。


福島市
凡　例
対象事業実施区域
1 岩石地
2 岩層性土壌
3 黒ボク土壌
4 褐色森林土壌
5 粗粒褐色低地土壌
6 粗粒灰色低地土壌
1:40,000
0 0.5 1 2 km
N
「20 万分の 1 土地分類基本調査 土壌図」
（国土交通省国土政策局国土情報課 HP、
閲覧：平成 30 年 12 月）
より作成

第 3.1-20 図　土壌図

(1) 地盤沈下に係る苦情の発生状況

地盤沈下に係る苦情は「平成 29 年度　環境等測定調査結果」(福島県、平成 30 年)によると福島市で 0 件となっている。

また、平成 25～29 年度における地盤沈下に係る苦情件数の推移は第 3.1-38 表のとおりである。

第 3.1-38 表　地盤沈下に係る苦情件数の推移

(単位：件)

市	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
福島市	0	0	0	0	0

〔「平成 25～29 年度　環境等測定調査結果」（福島県 HP、平成 26～30 年）より作成〕

3.1.4 地形及び地質の状況

1. 地形の状況

対象事業実施区域の周囲における地形の状況は第 3.1-21 図のとおりである。

対象事業実施区域は、「小起伏火山地」及び「中起伏火山地」からなっている。

また、「日本の典型地形」（国土地理院 HP、閲覧：平成 30 年 12 月）によると、第 3.1-39 表及び第 3.1-22 図のとおり対象事業実施区域の周囲には扇状地である「荒川扇状地」及び沖積錐である「地蔵原」が存在する。

第 3.1-39 表　地形の状況（典型地形）

地形項目	名称
扇状地	荒川扇状地
沖積錐	地蔵原

〔「日本の典型地形」（国土地理院 HP、閲覧：平成 30 年 12 月）より作成〕

2. 地質の状況

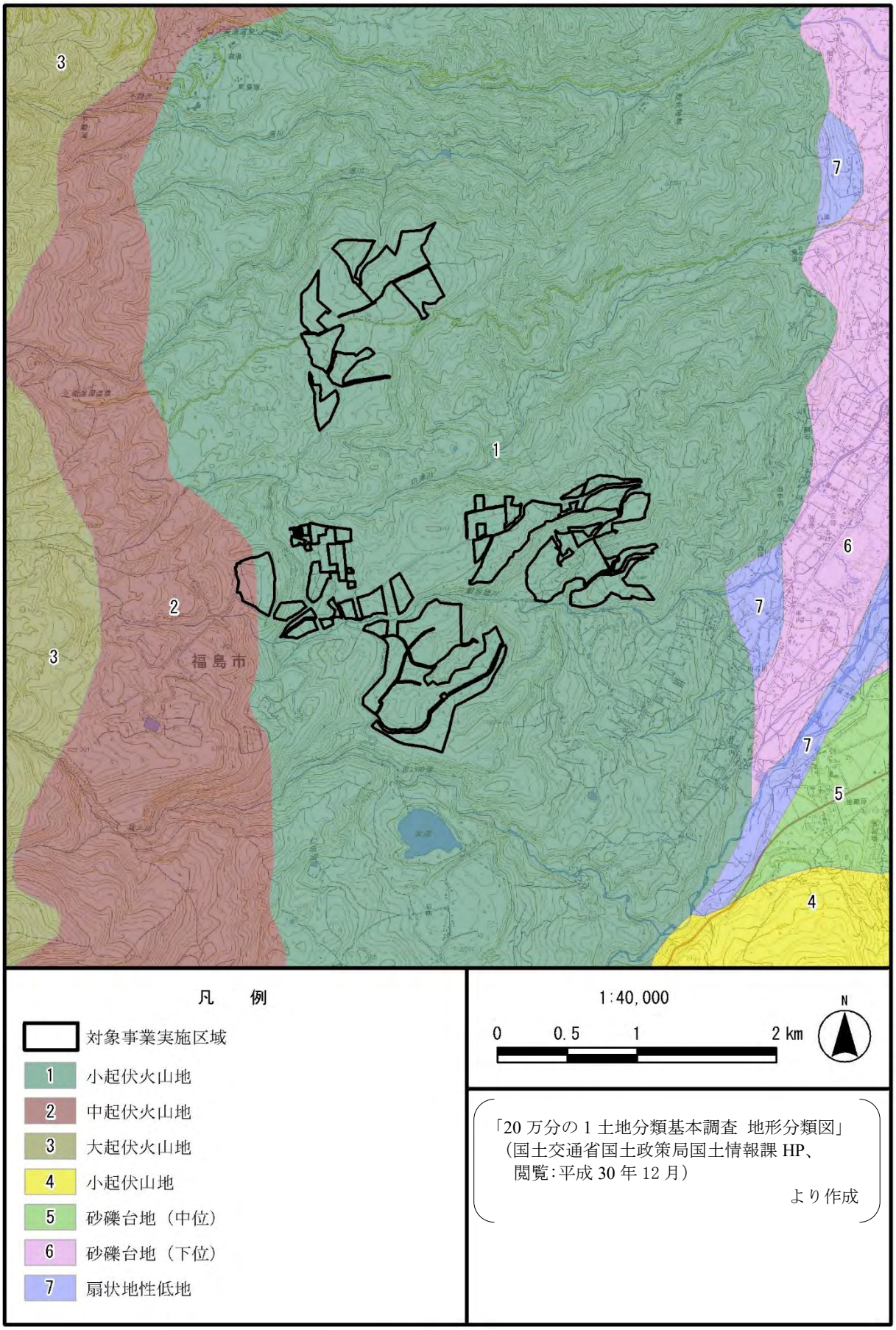
(1) 表層地質の状況

対象事業実施区域の周囲における表層地質の状況は第 3.1-23 図のとおりである。対象事業実施区域は主に火山性堆積物である「火山砕屑物（火山泥流）」及び「安山岩溶岩および同質集塊岩」からなっている。北側には「推定断層」がある。

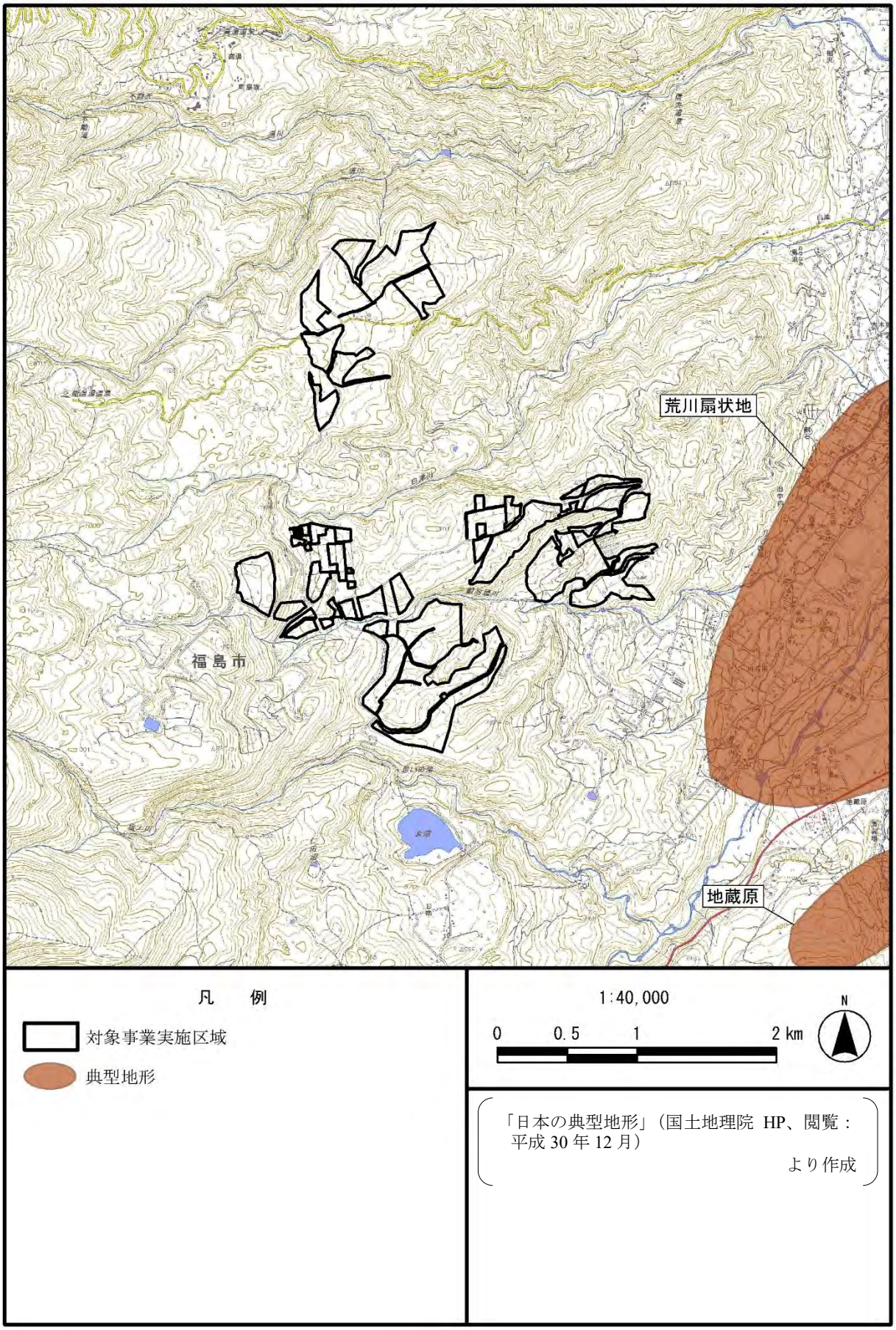
3. 重要な地形・地質

「日本の地形レッドデータブック第 1 集、第 2 集」（日本の地形レッドデータブック作成委員会、平成 12、14 年）において選定された保存すべき地形はない。

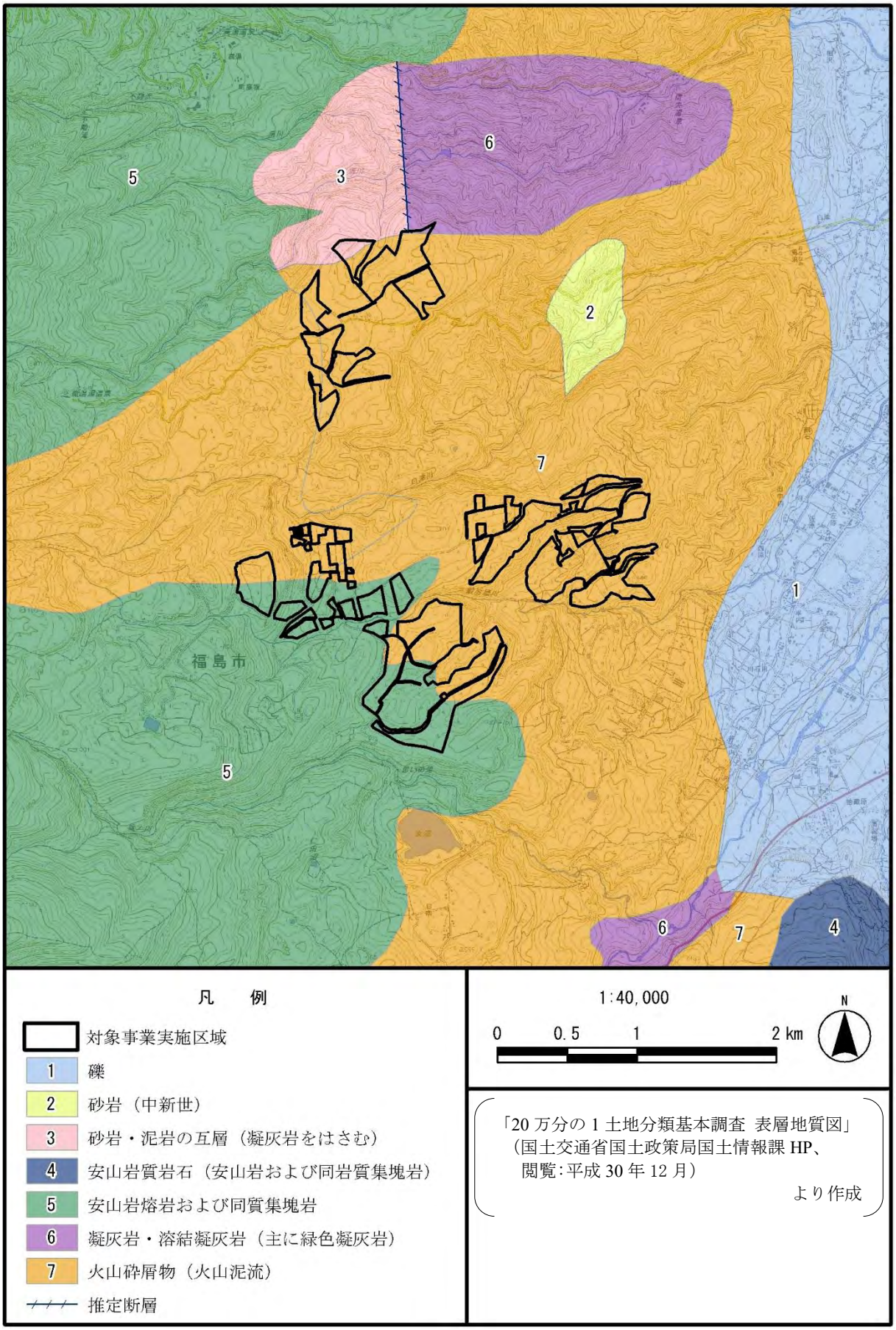
また、「文化財保護法」（昭和 25 年法律第 214 号、最終改正：平成 26 年 6 月 13 日）により指定されている重要な地質は存在しない。



第 3.1-21 図　地形の状況（地形分類図）



第 3.1-22 図　地形の状況（典型地形）



第 3.1-23 図　表層地質図

3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

1. 動物の生息の状況

対象事業実施区域及びその周囲において生息が想定される動物種を把握するため、当該地域の自然特性等を勘案し、第 3.1-40 表に示す 9 件の文献その他の資料等（以下、既存資料と称す）より当該地域の動物の生息情報の整理を行った。

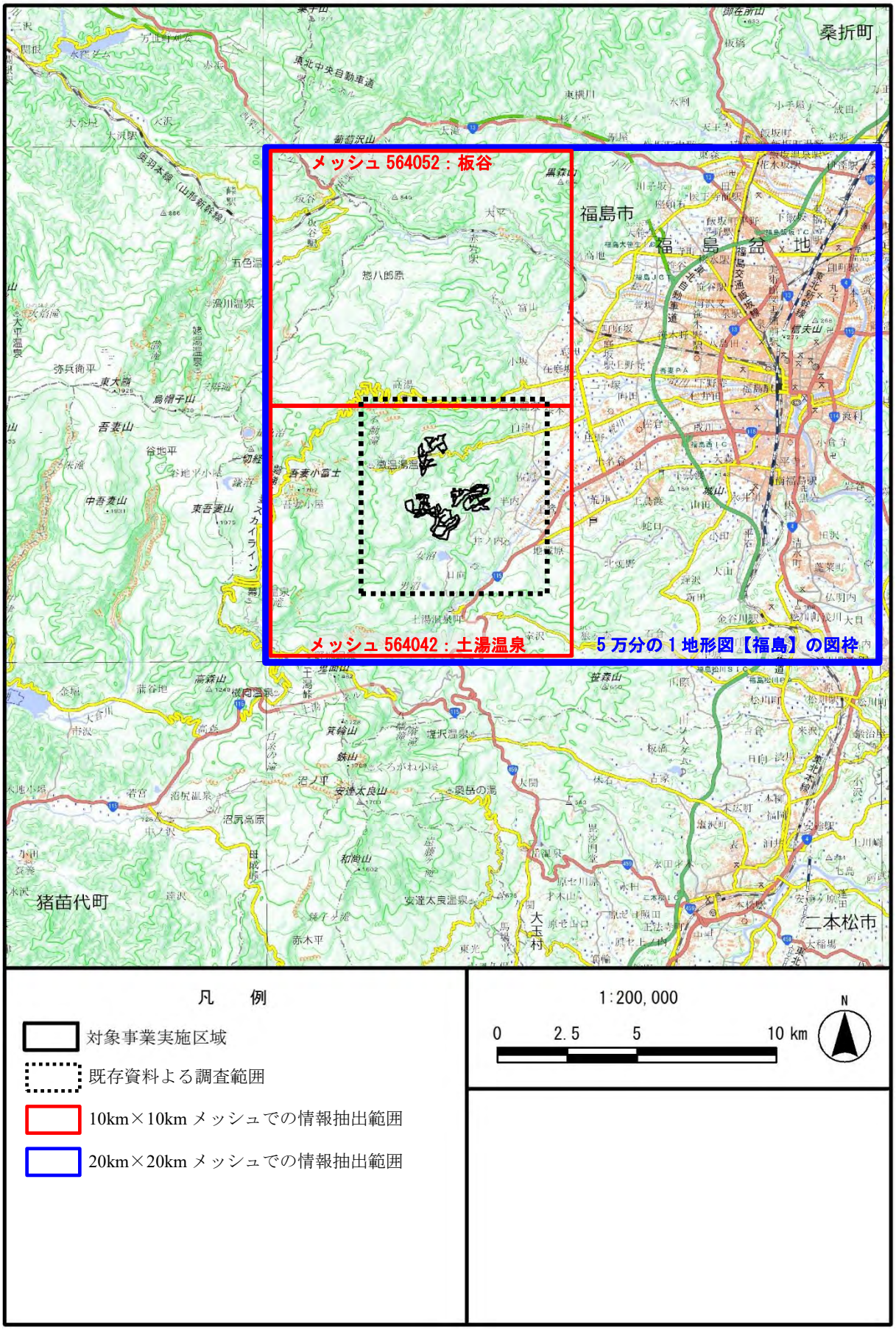
既存資料より動物種等の把握する調査範囲は、第 3.1-24 図に示す調査範囲を基本とし、各既存資料の調査方法、整理内容に応じて、第 3.1-41 表に示す範囲で動物の生息情報の抽出を行った。

第 3.1-40 表　動物の生息状況を把握するための文献その他の資料等

資料No.		既存資料＼動物群	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	魚類	昆虫類	底生動物	陸産貝類
A	1	「第2回自然環境保全基礎調査－福島県動植物分布図－」（環境庁、昭和56年）			●	●	●	●		
	2	「自然環境調査 Web-GIS 第2回自然環境保全基礎調査動物分布調査結果」（環境省自然環境局生物多様性センターHP、閲覧：平成30年12月）	●	●						
	3	「自然環境調査 Web-GIS 第3回自然環境保全基礎調査動植物分布調査結果」（環境省自然環境局生物多様性センターHP、閲覧：平成30年12月）		●						
	4	「自然環境調査 Web-GIS 第4回自然環境保全基礎調査動植物分布調査結果」（環境省自然環境局生物多様性センターHP、閲覧：平成30年12月）	●		●	●	●	●	●	●
	5	「自然環境調査 Web-GIS 第5回自然環境保全基礎調査種の多様性調査結果」（環境省自然環境局生物多様性センターHP、閲覧：平成30年12月）	●		●	●	●	●	●	●
	6	「「第6回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査－鳥類繁殖分布調査報告書－」（環境省自然環境局生物多様性センター、平成16年3月）		●						
	7	「自然環境調査 Web-GIS 第6回自然環境保全基礎調査種の多様性調査結果」（環境省自然環境局生物多様性センターHP、閲覧：平成30年12月）	●							
B	1	「レッドデータブックふくしまⅠ－福島県の絶滅のおそれのある野生生物－（植物･昆虫･鳥類）」（福島県生活環境部環境政策部、平成14年3月）		●				●		
	2	「レッドデータブックふくしまⅡ－福島県の絶滅のおそれのある野生生物－（淡水魚類/両生･爬虫類/哺乳類」（福島県生活環境部環境政策部、平成15年3月）	●		●	●	●			

第 3.1-41 表　既存資料での生息情報の抽出範囲

<table>
<tr><th colspan="2">資料
No.</th><th>既存資料</th><th>生息情報の抽出範囲</th></tr>
<tr><td rowspan="7">A</td><td>1</td><td>「第2回自然環境保全基礎調査－福島県動植物分布図－」（環境庁、昭和56年）</td><td>第3.1-24図に示す調査範囲で確認情報がある種</td></tr>
<tr><td>2</td><td>「自然環境調査 Web-GIS 第2回自然環境保全基礎調査動物分布調査結果」（環境省自然環境局生物多様性センターHP、閲覧：平成30年12月）</td><td rowspan="5">調査範囲が含まれる10×10kmメッシュ（564042：土湯温泉及び564052：板谷）の確認情報のうち、福島市（市町村合併前の福島市）で確認情報がある種</td></tr>
<tr><td>3</td><td>「自然環境調査 Web-GIS 第3回自然環境保全基礎調査動植物分布調査結果」（環境省自然環境局生物多様性センターHP、閲覧：平成30年12月）</td></tr>
<tr><td>4</td><td>「自然環境調査 Web-GIS 第4回自然環境保全基礎調査動植物分布調査結果」（環境省自然環境局生物多様性センターHP、閲覧：平成30年12月）</td></tr>
<tr><td>5</td><td>「自然環境調査 Web-GIS 第5回自然環境保全基礎調査種の多様性調査結果」（環境省自然環境局生物多様性センターHP、閲覧：平成30年12月）</td></tr>
<tr><td>6</td><td>「第6回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査－鳥類繁殖分布調査報告書－」（環境省自然環境局生物多様性センター、平成16年3月）</td><td>調査範囲が含まれる20×20kmメッシュ（5万分の1地形図【福島】の図枠）の確認情報がある種</td></tr>
<tr><td>7</td><td>「自然環境調査 Web-GIS 第6回自然環境保全基礎調査種の多様性調査結果」（環境省自然環境局生物多様性センターHP、閲覧：平成30年12月）</td><td>調査範囲が含まれる10×10kmメッシュ（564042：土湯温泉及び564052：板谷）の確認情報がある種</td></tr>
<tr><td rowspan="2">B</td><td>1</td><td>「レッドデータブックふくしまⅠ－福島県の絶滅のおそれのある野生生物－（植物･昆虫･鳥類）」（福島県生活環境部環境政策部、平成14年3月）</td><td rowspan="2">調査範囲が含まれる10×10kmメッシュ（564042：土湯温泉及び564052：板谷）の確認情報及び福島市（市町村合併前の福島市）、吾妻山系、中通り（奥羽山系）で確認情報がある種</td></tr>
<tr><td>2</td><td>「レッドデータブックふくしまⅡ－福島県の絶滅のおそれのある野生生物－（淡水魚類/両生･爬虫類/哺乳類」（福島県生活環境部環境政策部、平成15年3月）</td></tr>
</table>



第 3.1-24 図　文献その他の資料調査範囲